

〈声明〉

日本を「戦争する国」にしない—らいてうのこころざしを受けつぎ、
アジアと世界の平和のために行動しましょう

2023年5月27日

昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻から1年3カ月。多くの犠牲者を出し、くらしも環境も破壊する戦争を、軍事力の強化によってさらに拡大するのか、国連憲章に基づく平和的な国際秩序をとりもどすのか—私たちは歴史の転換点に立っています。

重大なことは、岸田政権が、ウクライナ侵攻やアジア情勢を契機として、国民の意見も聞かず国会にも諮らずに、「敵基地攻撃能力」の保有、軍事予算の倍増という日本の安全保障政策の大転換・軍事強化を進めていることです。憲法9条違反はもとより、国際法で禁じられた先制攻撃にまで突き進もうとする大軍拡は、国民生活を破壊するとともに、戦争につながるものとして、国内外から懸念の声が上がっています。日本を再び「戦争する国」にすることは、何としても許してはなりません。

平塚らいてうの会は、平和・協同・自然を愛し女性の自立を願って行動した平塚らいてうのこころざしを現代に生かそうと日々活動しています。

らいてうは、第2次世界大戦の反省に基づいて制定された日本国憲法9条に深く共鳴し、「非武装・非交戦」の立場から原水爆禁止、軍事基地反対などの運動をすすめ、「核兵器も戦争もない世界を」「ただ戦争だけが敵」「平和のために一致点で共同を」と訴え続けました。

当会はそのこころざしを受けつぎ、昨年のロシアのウクライナ侵攻には強く抗議するとともに、国内外の反戦の輪に加わる意思を表明しました。

戦争か平和か—私たちは、歴史の転換点に立っています。「生きることは行動すること」と言い残したらいてうのこころざしを生かすことが、今まさに問われています。

らいてうはまた、「わたくしは永遠に失望しないでしょう」と、若い世代による運動の前進への希望を語りました。私たちは、らいてうのこころざしを受けつぎ、多くの人々と手をつなぎ、憲法9条を守り生かして日本を再び「戦争する国」にしないために行動することを決意するものです。

NPO法人平塚らいてうの会
第24回通常総会